



時間がかかるBCP対策を

短時間で



と楽に！



BCP の作成が終わっていないあなたへの

イグジットの BCP 対策支援サービス

POINT 1 業界歴 **25** 年のスタッフがサポート！

POINT 2 面談は **最小 3** 回、**オンライン**でも可能！

POINT 3 大小の規模を問わず、**数多くの実績。**

POINT 4 **悩む時間**を**削減**して、効果的な BCP が完成！

POINT 5 **最小の手間**と**コスト**で完璧な BCP が完成！

POINT 6 BCP 作成に予算のかけられない
小規模介護施設や**福祉施設**におすすめです！

01 BCP 対策でなくてはならない事は？

以下のすべての要件を検討し、文書化しなくてはなりません。



① 災害リスクの把握と分析

施設の立地や利用者、スタッフさんのお住まいによって災害リスクは異なります。

それを元に、施設で一番大きなリスクとなる災害を分析します。



② 万が一の備えと対策

電気、ガス、水道、通信、トイレの水が止まった時にどのような対策をするのか。災害時に必要な備蓄品は用意しているか。

収入が止まったとしても運営できる資金を確保しているか。



③ 緊急事態発生時の対応

BCP の発動基準、行動基準、避難場所、避難方法などの確認。

災害等が発生した際に、最低限継続する業務を選定。

・他施設、地域との連携体制の構築・確認。

・感染症発生時の対応。

連絡体制、各機関との連携、情報発信、過重労働対応 ... などなど。

まだまだ項目はありますが、**災害時起こり得るありとあらゆることを想定し、対策するのがBCPです。**

小規模介護施設の場合、標準的なBCPは50 ページ程度の記載を要求されます。

仮に施設長お一人で作成される場合、数十時間確保する必要があるでしょう。

02 BCP 作ってないとうなる？

❗ 運営指導の際、減算対象となる。

❗ 雇用者の安全配慮義務違反に問われる。



そんなの無理だよ ...

これが、小規模介護施設が BCP 策定に至らない理由です。



BCP は、その必要性や理念などには共感できますが、現行制度では、小規模な介護施設など、管理者の事情が軽視されており、その割に過大な業務責任が負わされています。

大規模施設では予算をかけて、「BCPコンサルタント」に依頼することがありますが、**数百万円の策定費と人員を確保する必要がある**ため、小規模介護施設では現実的ではありません。

小規模介護施設では予算に加え、時間や人員が限られています。

そのため、現場の仕事を持っている施設長自身がBCP対策に取り組むことになりがちです。

その結果、BCPという莫大な業務に圧倒されて後回しになってしまうケースが多いのです。

しかし期限は刻々と迫ってきています。



そんなあなたのための

株式会社 イグジットの

BCP 策定支援サービス



03 BCP策定支援サービスの3つのポイント



POINT.1

大幅な時間短縮

50 ページ以上になる BCP を施設長一人で作ろうとすると、数十時間必要です。
数回のオンライン面談と、指定されたリストの作成だけで、書類作成をイグジットに任せられるから、大切な仕事に集中できます。



POINT.2

文章化の手間を削減

「災害が起きたらこう対策する」BCPは既に施設長の頭の中にあります。それを文章化するのが大変なのです。

施設長は、面談と A4 用紙 4 枚程度の質問票へ記入するだけ。
弊社が施設長のお考えを形にします。

(別途、スタッフさんにもリストにもとづき、備蓄品数を調べる等の作業が発生いたします。)



POINT.3

オンラインで完結

BCP 作成に必要なインタビューはオンライン (ZOOM) で行います。

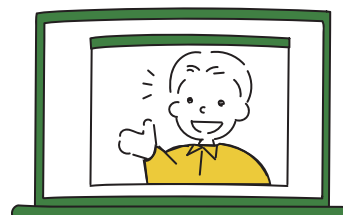
また、少しでも不明な点などがあれば、メール・ZOOM・LINE などですぐに解決いたします!

04 BCP策定支援の流れ

面談 1回目

聞き取り（オンライン）

施設の状況の聞き取りをします。



online

面談 2回目

質問票・リストのご説明（オンライン）

作成していただく資料をご説明いたします。

施設長・スタッフのみなさんによる 「質問票・リスト」作成期間

※不明点がございましたら、随時サポートいたします。



作成していただいた「質問票・リスト」を元に イグジットがBCPを作成

面談 3回目

確認

仮のBCPを施設長にご覧いただき、
修正点の指示をいただきます。



完成！

ご指摘事項を修正のうえ、
施設オリジナルのBCPを書面・データで納品いたします。



05 BCP作成支援の料金

※施設の規模によって金額が変わります。

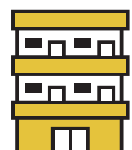


有料老人ホーム1棟

..... 約 15 万円



+



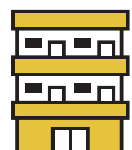
.....

約 20 万円

有料老人ホーム1棟 + サ高住1棟 (同一敷地内)



+



+



.....

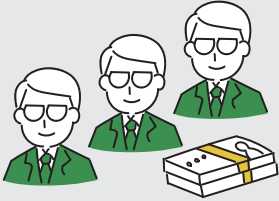
約 25 万円

有料老人ホーム1棟 + サ高住1棟 + ヘルパーステーション (同一敷地内)

06 納品物

- ① BCP(A4 ファイル) 1 部
自然災害対策・感染症対策 50 ～ 70 ページ
- ② 災害対策所見 1 部
災害対策優先順位トップ 3
- ③ CD-ROM(次年度修正用のデータ) 1 枚
Word、excel

07 BCP策定を支援する機関の違い

	 大手コンサルティング会社	 イグジットの BCP 策定支援 サービス	 自分で策定
コスト	× 150 万円～	◎	× 施設長とスタッフの 人件費が過大となる。
手間	○	◎ 施設長のインタビューをも とにイグジットが作成。	× 施設長とスタッフが長時 間かける必要がある。
サポート内容	○	◎ BCP 策定 + 防災訓練企画 (オプション)	× なし
施設側の対応	施設内でプロジェクトチームを組む。	施設長及びスタッフ	施設長及びスタッフ
総合	一年で体制が構築される一方、手間と費用が大きい。	初年度は BCP 策定に集中し、次年度より訓練を通じてブラッシュアップすることで、 施設の実情に合った BCP が完成。	時間がかかる上に、実質的な計画ができない場合が多い。

08 Q&A

Q1. もしも 2024 年 3 月の経過措置期間までに BCP を策定していなかったらどうなるのですか？

減算など、行政上の指導を受ける可能性があります。

Q2. 期限までにまだ時間があるからいいんじゃない？

BCP を作り、訓練をしてブラッシュアップする。

この 1 回の流れに 1 年は必要です。今からすぐ取り組んでも、期限までに 2 回。

BCP は使えなければ意味がありません。今すぐ取り組まなければ時間が足りません。

Q3. 行政の運営指導で BCP の有無をチェックするのですか？

はい、2022 年 3 月に厚生労働省の作成した「介護保険施設等運営指導マニュアル」で

は、下記 2 点を書類で確認する事となっています。

- ①BCP が策定されている事
- ②訓練が行われた記録が残されている事

Q4. 防災の事は全然わからないんだけど ...

LINE、メール、オンライン通話などで、私たちが小さなことでもしっかりサポートいたします。

Q5. 定期的に外部の人が来るのは感染症が心配です。

面談はオンラインで行います。

09 サービスをご利用頂いた方の声

大分市老人ホーム
代表取締役
30 代男性



早く BCP に取り組まなければと思いつつ、
作成の時間を取れずに焦っていました。
イグジットのサービスは質問に答えるだけで
BCP が完成するので、時間がかからず、さ
らに気持ちも楽でした。
BCP と一緒にもらった「リスク分析報告書」
に基づき、今後対策を進めていきます。

大分市デイサービス
施設長
50 代女性



私が施設を始めた理由や、利用者に対する
想いをしっかりヒアリングしてくれたので、
安心して任せられると感じました。
防災訓練がリアルで「うちの施設だったらど
うする？」とスタッフで話し合うきっかけに
なりました。

10 最後に

建物を火災リスクから守る消防設備業に 25 年間携わって
います。
建物管理者のニーズをお聞きし、物件に合わせた消防計画
を作成する等、お客様と消防署の架け橋として延べ 5,000
件以上の建物を火災から守ってきました。
町内会や企業の地震・防災対策のサポートも行っています。
お気軽にご相談ください！



私が担当します！

代表取締役 吉岡隆治